

## 第61回岐阜県保育研究大会開催要綱

- 1 趣 旨 急速な少子化が進行する中、さらなる子育て支援の充実に向けて、令和5年12月に「こども未来戦略」が閣議決定されました。  
私ども保育関係者は、保育をめぐる制度動向や、求められる責務について、認識し、保育の社会的な意義・役割をあらためて確認したうえで、日々の取組みを充実することが求められています。  
こうした中、保育関係者が一堂に会し、保育所・認定こども園の役割と意識を深めるとともに、新たな情報を基に開かれた保育所・認定こども園の構築に向けてさらなる資質向上を目的として、第61回岐阜県保育研究大会を開催します。
- 2 主 催 岐阜県社会福祉協議会 岐阜県保育研究協議会 岐阜市
- 3 後 援 岐阜県
- 4 期 日 令和6年7月1日（月）～31日（水）〈オンラインで期間配信〉
- 5 形 式 ◇全体会・分科会：オンライン配信

- ・大会専用HPを立ち上げ、全体会及び分科会のアドレス視聴用パスワードを参加者のみに通知します。
- ・配信動画は、You tube の制限公開機能を用い、一般には非公開とします。

- 6 参加者 保育所・認定こども園(幼保連携型・保育所型)の関係者  
市町村行政関係者、市町村社会福祉協議会関係者、その他保育の関係者
- 7 予定数 220保育所・園(320名)
- 8 参加費 一保育所(園) 2,000円  
(県保育研究協議会 非会員保育所(園)は、4,000円)  
※分科会の助言者及び意見発表者の保育所・園は参加費免除
- 9 概 要  
○全体会： (1) 開会の言葉 【動画】  
(2) 主催者挨拶 【動画】  
(3) 歓迎の言葉 【動画】  
(4) 来賓祝辞 【動画】  
(5) 講 演 【動画】  
講 師：広島大学大学院 人間社会科学研究科  
教授 七木田 敦氏  
演 題：「保育の中で気になる子どもへの支援」

○分科会：4分科会 【動画・発表資料】

※発表資料は別途印刷配布

## 10 分科会の実施方法

- (1) 意見発表者は、発表動画を事前収録
- (2) 助言者は、(1)の発表動画等をもとに、助言動画を収録
- (3) 大会事務局で(1)及び(2)の動画を編集し、大会専用HPに動画を配信
- (4) 参加者は視聴期間内であれば、全ての分科会を自由に視聴可能
- (5) 大会専用HPをQRコードで案内し、スマホでも簡単に視聴が可能

## 11 分科会のテーマと内容

### 第1分科会 新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されています。

また、学校および児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ幼保連携型認定こども園が創設され、保育が提供されています。

保育所は、保育所保育指針にもとづき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめています。同時に、児童福祉施設ならびに学校である幼保連携型認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育実践が展開されています。

本テーマでは上記保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

### 第2分科会 配慮を要する子どもや家庭への支援にむけて

保育所・認定こども園等では、「配慮を要する子ども」が増えていることが指摘されています。また保護者自身が生活面などにおいて、何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。多様なニーズを抱えた子どもとその保護者を理解し、保育の専門性を活かした適切な支援を行うことは、保育所・認定こども園等の大きな役割の一つです。

本テーマではインクルーシブ保育の視点から、障害の有無にかかわらず、配慮を要する子どもを含めたすべての子どもを、分け隔てなく一緒に保育し、すべての子どもや保護者に対して、保育・子育て支援関係者としていかに寄り添い、かかわり、支援をおこなうべきかについて、研究を深めます。

### 第3分科会 保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化があげられます。そのため、職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップに一層留意する必要があります。

平成29年度からは「保育士等の処遇改善」と関連して、保育士の技能・経験に着目したキャリアアップの仕組みが示され、さらなる人材育成への取り組みが求められます。

本テーマでは、多様な保育ニーズに応えるため、内外の研修受講や情報共有のあり方、保育者の自己評価等、職員の資質向上にむけた効果的・具体的な実践とともに、今後、保育者自身にもとめられる資質向上のあり方について研究を深めます。

## 第4分科会 家庭や地域との連携による食育の推進

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。また、食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要です。

一方、保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保育所・認定こども園等での食事をとおして「食を営む力」の基礎を培うことができるよう、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

### 1.2 参加申込

- 各保育所（園）が別紙「参加申込書」により、**5月17日（金）**まで大会事務局へ直接申し込むものとします。（FAX：058-275-4888まで）
- 参加費については、**6月14日（金）**までに次へ送金願います。なお、納入後の参加費については返金致しかねますのでご了承ください。

#### 《参加費振込先》

金融機関名 十六銀行 県庁支店 普通預金 口座No. 0279813

口座名義 「一般会計 社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会 会長 もりかわ ゆきえ 森川 幸江」

- 分科会の助言者及び意見発表者の保育所（園）については、参加費を免除します。

### 1.3 個人情報の取扱い

- 参加申込書に記載された情報は大会運営のみに利用します。
- 動画は、You tube の公開制限機能を用い、参加者のみへの公開とします。

### 1.4 大会事務局

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内  
岐阜県社会福祉協議会 施設人材部 担当：樋口・森  
電話058-201-1562 / FAX058-275-4888  
Eメール：[hoiku@winc.or.jp](mailto:hoiku@winc.or.jp)